

教育目標『ふるさとを愛し 自ら考え たくましく生きる児童の育成』

～思いやりのある子・進んで学ぶ子・たくましい子～



松小だより

令和6年12月4日(水)

学校通信 第34号

発行 学校長

電話 027-393-1521

※個人情報の取扱にご留意ください。

〈 松井田小ホームページ <http://www.annaka.ed.jp/shin-matsuida/> 〉

オリジナル缶バッジに込めた思い

Smile Band の話題が続き、申し訳ありません。昨日、12月3日(火)に、JR 東日本安中駅勤務の女性社員様からホームページをとおしてメッセージが届きました。この社員様こそ、今回の Smile Band 最終公演のためにオリジナルのデザインを手がけ、一つ一つ心を込めて缶バッジを製作して下さった方です。特にお世話になった駅長様などJRの社員様には、スライドショーもご覧いただきました。安中市出身のこの社員様は、本校のマーチング活動が節目を迎えるにあたり、本校児童に熱い思いを寄せてくださいました。ご紹介いたしますので、ぜひお読みください。こうした皆様の思いに支えられての最終公演であったということですね。感謝しかありません。こうした学校外の人の心を打つ活動ができたということは、やっぱり本校の児童は素晴らしいと感じます。



松井田小学校 Smile Band のみなさん、校長先生をはじめ関係者のみなさま

『Smile Band Final Stage in YOKOKAWA』での大活躍、大変お疲れさまでした。皆様にお配りした缶バッジのデザインを担当いたしました。直接ご挨拶する機会がなかなかないため、こちらのメッセージフォームより失礼いたします。当日は残念ながら直接演奏を見届けることができませんでしたが、貴校ホームページの松小日記をはじめ、様々な SNS にて Smile Band のみなさんの勇姿を拝見しました。弊社の社員も申請していたのですが、本当に素晴らしい Final Stage だったようですね。ご家族や多くのお客様の前での演奏はかなり緊張したと思います。そんな中、堂々と有終の美を飾った子供たちの勇気と強さに感動しました。当日お休みだった児童もいらしたようですが、全員が日頃から努力を重ねてきた結果が、多くの人々の心を動かしたのでしょうか。誰一人欠けることのない、全員の力があってこそです。本当に素晴らしいことだと思います。

また本日スライドショーを拝見しました。可愛らしい衣装に缶バッジを装着してくれた姿、子供たちの伸びた背筋、真剣な眼差し、キビキビとした動き、先生方やご家族の愛、感動的なエンドロール…(私の名前まで!恐縮です。)職場ですが、堪えきれずに涙が出てしまいました。

この度お作りした缶バッジについてご説明させていただきます。デザインをするにあたり「皆様が後に思い出を振り返ることができるような記念品にしたい」という想いがあり、まず松小日記や、新聞社などによる Final Stage の告知記事にて情報を収集いたしました。完成した缶バッジには、こだわりのポイントが2つあります。まず1つ目ですが、縁にぐるっと並んだ音符は、Smile Band のみなさんが演奏した『ミッキーマウス・マーチ』の楽譜の一部になっています。これはすぐに気付いてくれた児童も多かったと伺いました。さすが、たくさん練習を重ねたみなさんには簡単だったかもしれないですね。

そして2つ目はデザインの配色です。周囲の赤と水色の丸模様は、衣装の上着とベストから、背景のクリーム系の色は可愛らしいベレー帽から、明るさをプラスするために引いたオレンジのラインは、過去のお写真にあった指揮杖の装飾から、それぞれ取り入れてあります。(メインロゴの両側にある3本ラインについて、「ミッキーの手をイメージしたのでは」という意見があったと伺いました。正直そこまでは考えていなかったのですが、豊かな発想に感心しました。)

今回、間接的にでも貴校の節目の活動に関わる事が出来て大変光栄でした。僣越ながら自分が作成した物が皆様の笑顔に少しでも繋がったのかなと考えると嬉しく思います。弊社といたしましても、子供たちが輝くステージをご提供出来たことはとても貴重な機会でした。

Smile Band の活動はこれにて一区切りとなりましたが、きっと 53 年紡いできた歴史はこれから色々な姿に形を変え、また新たな未来へ永く続いて行くのだと思います。これからも、子供たちの成長する場面に鉄道が寄り添い、共に歩み続けることが出来れば光栄です。来年は信越線が開業して 140 周年の節目の年になります。ぜひまた子供たちの力をお借りして、地域と鉄道を盛り上げていけたらと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。長文失礼いたしました。皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

東日本旅客鉄道株式会社 高崎統括センター 安中駅 ○○ ○○



よい話が届きました！



地域の方からメールが届きました。さっそく、お昼の「思いやり放送」で全校児童に紹介しました。なんだかこちらの心も温かくなりますね。子供たちのよい行いは、地域に明るさと元気を届けています。学んだことは、頭でわかっているけれども行動に移せなければ理解したことにはなりません。誰かが見ている見えていなくても、正しいと思う行動がきちんとできる児童へと成長して欲しいですね。「一人一人のやさしさで 笑顔の花を咲かせよう」は、本校の今年の人権スローガンです。子供たちの自覚と実践力の向上に期待します。

嬉しいことがありましたのでお伝えさせていただきます。冬の交通安全が始まったの初の登校時、本日 12 月 2 日（月）の 7:35 くらいのことです。通勤のため、自動車でも田口医院の方から琴平坂方面に向かうために、仲町の信号で右折しようと信号が青になるのを待っていました。青になったので右折の構えをしていると、松小の児童一人が三文字屋方面にわたろうとしていました。その子の振る舞いがすごかったのです。

まず、青になってもすぐにわたらず、左右を確認していました。私が右折しようとしているのに気付くと、ちょっと立ち止まりました。私が、「先にどうぞ」という気持ちで促すと、ピンと手を挙げてわたりました。そして、待っていた私の方を見て、深々とお辞儀をしたのです。つられて私も運転席からお辞儀をしました。心が通い合った気がしました。その子が黄色い帽子をかぶり、黄色いランドセルカバーをしていたので 1 年生だとわかりました。女の子だったと思います。

松井田小学校さんの日頃からの行き届いた安全指導を素晴らしいと思いました。同時に、気持ちのよい朝を迎えさせてくれたその子に感謝しています。早く伝えたくて急いで書きましたので、うまく伝えられなかったかもしれません。お許してください。

第 2 回学校運営協議会報告

11 月 27 日（水）オープンスクールの日には 10 名の委員の皆様がお集まりくださり、PTA Smile 音楽鑑賞会後に会議を行いました。学校からは、2 学期の児童の様子についてお伝えをいたしました。その中で、マーチングの活動につきましては、委員の皆様からもご意見をいただいておりますので、改めて決定した令和 7 年度の活動方針をお伝えするとともに、横川での最終公演についてご報告いたしました。横川まで足を運んでいただいた委員様もおり、労いのお言葉もいただきました。感謝申し上げます。熟議（協議）、意見交換では、次のような話題が出されましたので、この紙面をとおしてご報告いたします。

○学校より：スクールバスについては、防災・防犯上の観点から授業軽減時の非常時には運行せず、保護者のお迎えの要請、九十九学童利用者の松井田学童の受け入れなどの対策を取っていく予定。引き続き車内のマナーについても指導をしていく。

○学校評価アンケートでは、先生が児童をよく褒めている状況がうかがえる。今後も大切にしていきたい。

○細野小学校とは、統合に向けて引き続き学校間の交流を進めてほしい。

○校舎内の放課後児童クラブが、令和 7 年度に 1 部屋増設となる予定。児童の遊び場の確保、忘れ物の対応、スクールバスの移動時間等を考えると、今後 3 つのクラブのままでよいのか担当課とよく協議を。

○学校より：運動会の実施時期は昨年度より 2 週間程度遅らせたが、来年度はさらに再検討したい。

○中学生の自転車事故が心配されることから、6 年生保護者には、お子様の法令順守や自転車の乗り方について、進学前に学校から指導を促した方がよいのではないかと。